

教育講演3

静脈性潰瘍治療と看護

2020年4月から慢性静脈不全に対する静脈圧迫処置が診療報酬として算定できるようになりました。静脈性潰瘍を治療に導くには圧迫療法に対する患者さんの協力が不可欠ですが、高度肥満や高齢などによりセルフケアが困難なことも少なくありません。そのため患者さんのセルフケア力を高めるには、知識を習得したうえでの療養支援が重要となってきます。本講演では静脈性潰瘍治療の実践にあたり、静脈疾患治療の基本から外来診療のコツ、セルフケア指導のポイントなどについて症例を交えてお話しいたします。

日時 2021年11月6日(土) 12:35~13:20

WEB開催

座長

菅原 弘光 先生

JR仙台病院 外科 部長
日本静脈学会 評議員／弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター養成委員

講演1

静脈圧迫処置点数取得の方法と
下肢静脈について

演者

菅原 弘光 先生

JR仙台病院 外科 部長
日本静脈学会 評議員／弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター養成委員



講演2

静脈性潰瘍 セルフケアの指導と評価

演者

橘 優子 先生

順天堂大学医学部附属順天堂医院 足の疾患センター 副センター長
糖尿病看護認定看護師／日本フットケア・足病医学会認定師／
弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター／リンパ浮腫セラピスト

